

令和2年度 農業科（食品加工科）

教科	農業	科目	農業情報処理	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	農業情報処理（実教出版）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、スマホやインターネットに対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。
- ・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、ワークショップや演習等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
- ・ワード・エクセル・パワーポイントなどの使い方を学び、それを利用してプレゼンテーションを行えるようになります。

2 学習の到達目標

- ・日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータを活用して情報の収集や整理を行うことができる。
- ・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加する。
- ・コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。
- ・ワード・エクセル・パワーポイントなどの使い方を学び、それを利用して文書作成・表計算・プレゼンテーションが行える。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解

評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 等
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。</p> <p>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>				

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	情報とコンピュータ ネットワークの仕組みと情報システム	○情報の表し方 ○情報のデジタル化 ・デジタルデータの特徴 ・コンピュータにおける数値、文字、画像、音声の表現 ○コンピュータとの仕組み CPU ソフトウェア など ○ネットワークの動作の仕組み ○情報システムと情報セキュリティ	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a: コンピュータの仕組みに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしており、情報セキュリティの仕組みに関心をもち、情報通信ネットワークを安全に活用しようとしている b: 情報をデジタル化することの利点や問題点について考えることができ、情報システムや提供されるサービスの活用のあり方、社会生活に及ぼす影響と役割について考えている。 c: 情報機器を用いて情報をデジタル化することができる。また、デジタル化した情報を編集し、発信することができる。効果的に情報を共有するため、情報通信ネットワークや情報機器を活用することができる。 d: コンピュータ内部での情報の表し方や処理の仕組みを理解している。デジタル化の利点について理解している。	授業観察 ノート ワークシート 定期考査
2 学 期	ネットワークの活用 ソフトウェアの利用	○ワープロの利用	○	○	○	○	a, b, c, d: ワープロを利用した課題作成（一杯のかけそばの文章作り）をおこなう。 a, b, c, d: インターネットを利用しての作品材料の入手ができる。	ノート ワークシート 課題作品

2学期	ソフトウェアの利用	○表計算ソフトの利用	○	○	○	○	c:表計算ソフトの利用できる。 a, b, c:表計算ソフトを利用してのグラフ作成と情報の利用できる。 a, b, c, d:問題解決のための表計算ソフトの利用のために、情報を蓄積・管理することで、どのようなことが可能になるかを考えることができる。問題解決においての情報の有用性について考えることができる。	実習作品 授業観察 定期考査
3学期	ソフトウェアの利用 プレゼンテーション能力の育成	○プレゼンテーションソフトの利用 ○プレゼンテーションの作成と発表	○	○	○	○	c, d:プレゼンテーションソフトの利用しプレゼンを作成できる a, b, c:作成したプレゼンを使って、プレゼンテーションができる a, b:他者のプレゼンテーションを真剣に観察し、客観的に評価できる。	実習作品 授業観察 定期考査 プレゼンテーション発表 プレゼンテーション評価シート

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。